

令和5年度事業実施報告

3年以上にわたる新型コロナウイルス感染拡大により、県民の命と健康が脅かされ、社会経済活動は停滞を余儀なくされました。障がい者スポーツも多大な影響を受けてきましたが、昨年5月から感染症区分が変更となったのを契機に、多くの人が、スポーツに親しみ、楽しむ機会を確保できるよう、当協会事業の計画的実施を図って参りました。

公益財団法人として、公益性や透明性を確保し、障がい者スポーツの普及振興と障がい者スポーツに対する県民等の応援や支援の輪を広げるため、令和5年度は、加盟競技団体への支援や選手の育成強化を継続的に取り組むとともに、長野車いすマラソン大会、パラスポーツ指導者養成や協会の独自事業であるキッズ支援事業(チアダンス・ウインターキャンプ)を開催する等、積極的な事業展開に努めてきました。

I 協会の運営

1 会議の開催

理事会	第1回:令和5年6月 8日 第2回:令和6年3月 14日
評議員会	第1回:令和5年6月 23日 第2回:令和6年3月 14日
普及強化委員会	令和5年6月 23日 令和6年2月 28日 (部会)令和5年 11月 29日

2 会員の拡大

協会の健全な発展のために、県民の障がい者スポーツに対する意識の高揚とスポーツ振興を図る目的で、広く県民から賛助会員を募りました。

【会員の状況(令和6年3月末現在)】

区 分	会 員 数
賛助会員	個 人 136 名
	団 体 104 団体

II 事業の実施

1 障がい者スポーツ大会の開催事業

第23回長野県障がい者スポーツ大会は、9月10日及び17日に、松本市・長野市等9会場に分散し、4年ぶりに開催され、539人が参加しました。

2 長野車いすマラソン大会事業

令和5年4月23日(日)に開催された、第19回長野車いすマラソン大会の事務局運営・大会運営を行いました。

大会には49名がエントリーし42名の選手が出走し、晴れ・気温10℃・弱風の中、熱いレースが繰り広げられ、37名の選手が完走されました。

今回は、スタート時間の繰り上げのほか、コースの一部変更を行い、競技が実施されました。第1回から19回連続出場6名、初参加10名となりました。

また、障がい者スポーツへの理解促進を図るため、長野車いすマラソンクラブにご協力をいただき、車いすアスリート講師3名を派遣し、4か所で講演会を開催しました。

3 全国大会への選手団派遣事業

(1) 令和5年10月28日～30日に鹿児島県で開催された特別全国障害者スポーツ大会へ、長野県選手団として選手54人・役員40人、計94人を派遣しました。

個人競技	陸上 水泳 卓球、アーチェリー フライングディスク ボウリング ボッチャ	選手 34 人 役員 32 人
団体競技	バスケットボール(男子、女子)	選手 20 人 役員 8 人

長野県選手の成績は、金メダル9個、銀メダル9個、銅メダル9個の計27個を獲得し、個人競技では、選手の半数以上が自己ベストを更新しました。

また、団体競技のバスケットボールは、男女出場は新潟大会以来14年ぶりで、男女とも銀メダルを獲得しました。

- (2) 全国大会出場者の競技力向上のため、特別全国障害者スポーツ大会の個人競技種目選手を対象として、長野県障がい者福祉センター(サンアップル)等を会場に、5月20・21日と27・28日及び10月7・8日に記録会・強化練習を実施しました。

4 全国大会のブロック予選会(団体競技)への派遣事業

特別全国障害者スポーツ大会の北信越・東海地区予選会へ選手役員を派遣し、バスケットボール男子・女子(知的障がい者)が優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。

種目	開催日	開催場所	選手役員数	成績
車いすバスケットボール (身体障がい者)	6月10～11日	愛知県豊田市	12人	1回戦で愛知県に敗退
グランドソフトボール (視覚障がい者)	5月27～28日	長野県安曇野市	16人	決勝戦で三重県に敗れ準優勝
バレーボール 女子 (聴覚障がい者)	5月21日	愛知県豊山町	—	参加見送り
バスケットボール男子 (知的障がい者)	6月10日～11日	三重県伊勢市	13人	決勝戦で愛知県に勝ち優勝
バスケットボール女子 (知的障がい者)	6月10日～11日	三重県伊勢市	12人	決勝戦で愛知県に勝ち優勝
サッカー (知的障がい者)	5月20日～21日	静岡県袋井市	19人	1回戦で愛知県に敗退
フットソフトボール (知的障がい者)	5月21日	静岡県袋井市	15人	決勝戦で静岡県に敗れ準優勝
バレーボール (精神障がい者)	6月10日～11日	新潟県聖籠町	14人	2回戦で福井県に敗退 4位
野球 (ろうあ者体育大会)	6月17日～18日	石川県野々市市	12名	福井・石川に勝ち 全国大会出場

※ ろうあ者野球大会は、9月10日福井県福井市で全国大会が開催され、東京都に敗退

5 地域コーディネーター活動事業

障がい者が身近な場所で運動・スポーツに参加できる機会の拡大とスポーツを通じた共生社会づくりを推進し地域のスポーツ団体等の相互連携の調整役を担う「地域コーディネーター」を設置して7年が経過しました。

令和5年度は、みらいアスリートディレクターとの連携による、子どもたちが継続して競技に携われる支援及び、2028年に長野県で開催となる全国障害者スポーツ大会に向け、アスリートの発掘・育成に取り組んだほか、次の業務を実施しました。

- (1) 障がい者に、運動・スポーツの喚起(意義の発信)や必要な人に必要な情報の提供
- (2) 一般スポーツ団体等に、参加受入の開拓・相談・指導者紹介・地域の支援者ネットワークづくり

【令和5年度実績】

- ① 訪問 28件(市町村・福祉施設・学校関係・企業等)
- ② 相談 162件
- ③ 関係会議 14件
- ④ 体験会 38件(学校・福祉施設等)

6 みらいアスリート育成支援事業

令和5年度は、長野県内で活動しているチームがない団体競技に重点を置き、選手の発掘と競技力向上に取り組みました。

(1) バレーボール

- ① 中南信地区体験会の実施（R4年度2回、5年度16回）
- ② 中南信地区体験会名簿登録者数数の増加（第1回10名 第18回24名）
（参加者はバレー経験者に絞られてきている。初心者の受け入れをさらに充実させていく。）
- ③ パラバレーボール委員数の増加（昨年度スタート時:6名 本年度:14名）
- ④ 県バレーボール協会と今後の「知的障がい者バレーボールチーム立ち上げ」に関する情報交換
（R6年度までは当協会主催の体験会、R7年度以降はパラバレーボール委員会へ移行予定。）

(2) ソフトボール

- ① アンサンブルチームを中心とした体験会および練習（年間24回）
- ② 伊那西高校ソフトボール部との合同練習（年2回）
- ③ 松本大学ソフトボール体験会の実施（計5回）※R6年度も可能な時期に実施予定
- ④ 特別支援学校からの体験会参加者

(3) 特別支援学校中学部・高等部の体育授業見学

- ① 県内すべての特別支援学校を訪問し、(A)生徒に関する情報収集 (B)体験会（校内あるいは協会主催）の実施及び参加依頼 (C)県障がい者スポーツ大会参加呼びかけ等を行った。
（体験会数の増加や、障スポ大会参加者数の増加に繋がった。）
- ② 事前の状況調査を行ったことで、限られた時間の中で対象生徒や体育主任・教諭等と話げができた。
- ③ プールの授業を加盟競技団体の方に見学していただいた。
（普及強化委員会等で他の競技団体にも体育授業見学の呼び掛けを行った。）

【令和5年度実績】

- ① 訪問 55件(市町村・福祉施設・学校(養護含)、企業等)
- ② 相談 116件
- ③ 関係会議 11件
- ④ 体験会 53件(学校・福祉施設等)

7 パラスポーツ指導者養成事業

県からの委託を受け、初級パラスポーツ指導員を養成するため、障がい者競技団体指導者をはじめ、スポーツ指導員や総合型地域スポーツクラブ・教員等を中心に参加者を募り、北信(長野市)での開催に加え、中信地区(塩尻市)でも開催しました。

- 1回目:令和5年7月15～16日 7月29～30日(長野市)終了者25名
- 2回目:令和6年1月20～21日 1月27～28日(塩尻市)終了者30名

8 競技団体支援事業

協会加入競技団体(29団体)を対象に、各団体の選手育成強化及び活動促進するため、令和5年度は18団体を対象として事業を実施しました。内訳は以下の通りです。

強化練習事業	選手強化を目指すための事業に対し助成	14団体
選手派遣等事業	全国大会等への選手派遣事業に対し助成	14団体
用具整備事業	共用の競技用具の購入に対して助成	5団体
競技普及事業	競技普及、指導者・選手養成の事業に対し助成	14団体
大会開催事業	各競技の大会開催事業に対し助成	5団体

9 パラアスリート育成支援事業

本県関係選手がパラリンピックやデフリンピックをはじめとする国際大会及び全国大会で活躍できるよう、また、全国障害者スポーツの2028年の本県での開催を見据え、有望選手に対し競技団体を通じて支援しました。

【令和5年度支援選手】

補助対象競技団体名	支援選手名	
障がい者水泳クラブウルトラ☆スターズ	3名	前川直輝 畑遼一 池本夏綺
長野車いすマラソクラブ	1名	金児知哉
長野県障害者アーチェリー協会	1名	矢口敦也
(社福)長野県聴覚障害者協会	2名	中村晃大 星河真一郎
長野県パラ水泳協会	2名	中東郁葉 小祝千果
計(5競技団体)	9名	

10 地域スポーツ活動支援事業

(1) キッズ支援事業

障がいがある子ども達を対象に、スポーツを通じて、心身の健康づくりと同世代の子どもたちとの交流を図ることを目的として、ウインターキャンプやチアダンス教室を開催するとともに、指導員派遣によるスポーツ指導を実施しました。

事業内容	開催日	参加者数
ウインターキャンプ(スキー体験会 車山高原)	2月17日～18日	15名とその家族計34名
チアダンス教室(ホリトリグ: FID バスケハーフタイム)	3月31日 (練習:3/9 3/16)	22名その家族計40名
スポーツ体験会(サンアップル:車椅子バスケット・チェアカーリング・ボッチャ・フライングディスク)	1月13日	12名と家族計21名
指導員派遣	スキー教室(長野市立大豆島小)	1月16日 5名
	スキー教室(松本市立山辺小)	1月17日 1名
	スキー教室(高山村立高山小)	1月19日 1名
	スキー教室(長野市立浅川小)	1月31日 1名
	スキー教室(長野市立篠ノ井西小)	2月2日 2名
	スキー教室(駒ヶ根市立赤穂南小)	2月6日 1名
		計 6回 11名

(2) パラスポーツ指導者派遣事業

年間を通して、パラスポーツ指導員を、学校・施設・地域等へ派遣し、障がい者・高齢者等の地域におけるスポーツ活動を通じた健康づくりを支援しました。

課題として、派遣事業の指導員に対する周知方法の不足があげられました。今後は、SNSを活用し、タイムリーでわかりやすく、参加しやすい周知を行います。

(3) スポーツ用具貸出し事業

年間を通して、協会でも所有しているスポーツ用具等を、要望のあった学校、地域へ貸し出して、スポーツ活動を支援しました。

【令和5年度スポーツ用具等貸し出し】

スポーツ用具	回数	主な貸出先
ボッチャ用具	47	障がい者支援事業所、社会福祉協議団体、個人等
バイスキー	4	小学校スキー教室等
スポーツ用車いす	12	サンアップル、障がい者競技団体、スポーツクラブ等
フライングディスク	7	特別支援学校等
その他(ニュースポーツ等)	21	公民館、障がい者支援事業所等
計	91	

11 障がい者スポーツアスリート講師派遣事業

次代を担う小学生・中学生・高校生等に障がい者スポーツや障がいへの理解を深めてもらうため、障がい者アスリートを小学校・中学校・高校等へ派遣し、講演会、交流会を開催しました。

【令和5年度:講師2名、2か所 派遣先 小・中・高校等】

講師	派遣先	講演内容
奥原 明男さん	長野市北部中学校	講演及び車いすバスケットボール体験
高野さん(ボッチャ協会)	塩尻市宋賀小学校	講演及びボッチャ体験

12 トップアスリート支援事業

令和5年度は、第20回冬季デフリンピック大会(トルコ)に出場する トップアスリートに対する支援金の交付を予定しましたが、対象となる選手がいなかったため、実施しませんでした。

13 スポーツアスリート奨学金

若手アスリートの育成や競技環境を整備するため、サントリーホールディングス(株)が令和4年9月に立ち上げた「サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨学金」の2023年事業に当協会が採択され、平林太一選手(ブラインドサッカー)を支援しています。

14 情報発信・PR 事業

障がい者スポーツ及び協会の活動に関する情報発信・PR活動を行いました。

- (1) 情報提供を行うため、「スポーツ協会だより」を3回発行し関係者に配布しました。
(第54号:令和5年6月発行 第55号:12月発行 第56号:令和6年3月発行)
- (2) 協会ホームページのほか新たにインスタを開設し、年間を通して情報発信をしました。
- (3) 年間を通して、大会、講習会等の開催情報等を競技団体等に提供しました。

15 障がい者スポーツ表彰事業

県内の障がい者スポーツの振興に功績のあった個人・団体を対象に、その功績を称え表彰をしました。

種別	受賞者
特別功労賞	小池 今朝敏(小海町)
功労賞	宮澤 武弘(佐久市) 塚田 壮一(長野市)
特別賞	中田 裕美(軽井沢町)
奨励賞	丸山 弘毅(松本市) 星河 真一郎(山ノ内町) 相澤 悠一郎(長野市)

16 寄附の受領

地域における障がい者スポーツの普及振興やキッズ支援等、協会の独自事業に対してご寄附をいただきました。

日時	ご寄附などをいただいた皆様
7月31日	セイコーエプソン株式会社
8月31日・2月9日	長野県信用組合協会

9月1日	株式会社プレステージ
10月30日	(一社)生命保険協会长野県協会

※ (株)プレステージは、全国障害者スポーツ大会の団体競技で全国大会出場チーム(ブロック予選優勝チーム)に寄贈しています。

決 算 報 告 書

自 令和 5年4月 1日
至 令和 6年3月 31日

公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,034,880	32,442,582	△ 1,407,702
未収金	4,163,000	12,000	4,151,000
流動資産合計	35,197,880	32,454,582	2,743,298
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,859,086	4,196,646	662,440
車いすマラソン積立資産	0	2,000,092	△ 2,000,092
競技力向上等事業準備資金	7,500,157	9,000,069	△ 1,499,912
特定資産合計	12,359,243	15,196,807	△ 2,837,564
(3) その他固定資産			
車両運搬具	746,336	1,496,518	△ 750,182
什器備品	3,814,014	6,721,306	△ 2,907,292
保証金	29,430	29,430	0
その他固定資産合計	4,589,780	8,247,254	△ 3,657,474
固定資産合計	16,949,023	23,444,061	△ 6,495,038
資産合計	52,146,903	55,898,643	△ 3,751,740
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,672,819	7,564,960	△ 892,141
預り金	175,214	298,142	△ 122,928
流動負債合計	6,848,033	7,863,102	△ 1,015,069
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,859,086	4,196,646	662,440
固定負債合計	4,859,086	4,196,646	662,440
負債合計	11,707,119	12,059,748	△ 352,629
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間助成金	0	200,000	△ 200,000
寄付金	40,883	111,690	△ 70,807
指定正味財産合計	40,883	311,690	△ 270,807
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(7,500,157)	(11,000,161)	△ 3,500,004
正味財産合計	40,439,784	43,838,895	△ 3,399,111
負債及び正味財産合計	52,146,903	55,898,643	△ 3,751,740

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	168	136	32
事業収益			
受取地方公共団体委託収益	18,064,335	13,236,708	4,827,627
受取日パラスポ委託収益	0	6,923,650	△ 6,923,650
事業収益計	18,064,335	20,160,358	△ 2,096,023
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	50,432,879	40,573,943	9,858,936
受取民間助成金	477,000	0	477,000
受取補助金等振替額	200,000	300,000	△ 100,000
受取補助金等計	51,109,879	40,873,943	10,235,936
受取負担金			
受取負担金	16,457,000	17,089,000	△ 632,000
受取寄付金			
受取寄付金	3,453,680	3,412,990	40,690
受取寄付金振替額	70,807	70,807	0
受取寄付金計	3,524,487	3,483,797	40,690
雑収益			
受取利息	90	113	△ 23
雑収益	531,436	510,311	21,125
雑収益計	531,526	510,424	21,102
経常収益計	89,687,395	82,117,658	7,569,737
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	23,559,408	19,411,064	4,148,344
退職給付費用	504,779	436,653	68,126
福利厚生費	3,557,917	2,532,932	1,024,985
旅費交通費	16,546,710	10,931,832	5,614,878
通信運搬費	1,078,320	1,047,668	30,652
減価償却費	3,411,414	2,487,475	923,939
消耗什器備品費	0	1,323,704	△ 1,323,704
消耗品費	4,905,512	5,149,430	△ 243,918
修繕費	95,116	168,176	△ 73,060
印刷製本費	1,657,313	1,507,015	150,298
燃料費	364,352	465,290	△ 100,938
光熱水料費	226,674	240,389	△ 13,715
賃借料	1,432,171	1,122,465	309,706
保険料	389,615	445,199	△ 55,584
諸謝金	1,879,600	1,134,200	745,400
租税公課	84,700	31,400	53,300
支払負担金	2,561,871	1,348,000	1,213,871
支払助成金	8,859,500	7,025,800	1,833,700
委託費	11,565,746	10,711,626	854,120
支払手数料	114,002	90,999	23,003
雑費	303,798	0	303,798
事業費計	83,098,518	67,611,317	15,487,201

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
役員報酬	42,000	42,000	0
給料手当	6,257,163	4,905,359	1,351,804
退職給付費用	157,661	136,382	21,279
福利厚生費	1,232,072	743,116	488,956
旅費交通費	122,710	135,458	△ 12,748
通信運搬費	163,529	167,055	△ 3,526
減価償却費	246,060	389,137	△ 143,077
消耗什器備品費	0	240,235	△ 240,235
消耗品費	316,769	228,293	88,476
修繕費	20,815	51,921	△ 31,106
印刷製本費	128,409	51,659	76,750
燃料費	9,304	25,253	△ 15,949
光熱水料費	89,888	83,737	6,151
賃借料	87,223	82,467	4,756
保険料	142,460	171,730	△ 29,270
租税公課	50,950	79,150	△ 28,200
支払負担金	3,080	3,120	△ 40
委託費	59,950	25,850	34,100
支払手数料	547,560	543,540	4,020
雑費	39,578	14,054	25,524
管理費計	9,717,181	8,119,516	1,597,665
経常費用計	92,815,699	75,730,833	17,084,866
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,128,304	6,386,825	△ 9,515,129
当期経常増減額	△ 3,128,304	6,386,825	△ 9,515,129
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,128,304	6,386,825	△ 9,515,129
当期一般正味財産増減額	△ 3,128,304	6,386,825	△ 9,515,129
一般正味財産期首残高	43,527,205	37,140,380	6,386,825
一般正味財産期末残高	40,398,901	43,527,205	△ 3,128,304
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取民間助成金	0	500,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 270,807	△ 370,807	100,000
当期指定正味財産増減額	△ 270,807	129,193	△ 400,000
指定正味財産期首残高	311,690	182,497	129,193
指定正味財産期末残高	40,883	311,690	△ 270,807
III 正味財産期末残高	40,439,784	43,838,895	△ 3,399,111

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 等消去	合計
	障がい者ス ポーツ普及 振興事業	車いすマラソ ン大会事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益							
特定資産受取利息	88	0	0	88	80	0	168
事業収益							
受取地方公共団体委託収益	18,064,335	0	0	18,064,335	0	0	18,064,335
受取補助金等							
受取地方公共団体補助金	23,094,335	0	15,708,328	38,802,663	11,630,216	0	50,432,879
受取民間助成金	477,000	0	0	477,000	0	0	477,000
受取補助金等振替額	200,000	0	0	200,000	0	0	200,000
受取補助金等計	23,771,335	0	15,708,328	39,479,663	11,630,216	0	51,109,879
受取負担金							
受取負担金	320,000	15,987,000	0	16,307,000	150,000	0	16,457,000
受取寄付金							
受取寄付金	3,453,680	0	0	3,453,680	0	0	3,453,680
受取寄付金振替額	70,807	0	0	70,807	0	0	70,807
受取寄付金計	3,524,487	0	0	3,524,487	0	0	3,524,487
雑収益							
受取利息	0	0	0	0	90	0	90
雑収益	61,118	335,027	0	396,145	135,291	0	531,436
雑収益計	61,118	335,027	0	396,145	135,381	0	531,526
経常収益計	45,741,363	16,322,027	15,708,328	77,771,718	11,915,677	0	89,687,395
(2) 経常費用							
事業費							
給料手当	7,165,403	3,345,438	13,048,567	23,559,408	0	0	23,559,408
退職給付費用	0	0	504,779	504,779	0	0	504,779
福利厚生費	1,113,956	467,513	1,976,448	3,557,917	0	0	3,557,917
旅費交通費	15,981,150	212,650	352,910	16,546,710	0	0	16,546,710
通信運搬費	625,805	117,480	335,035	1,078,320	0	0	1,078,320
減価償却費	0	0	3,411,414	3,411,414	0	0	3,411,414
消耗品費	3,147,440	1,109,083	648,989	4,905,512	0	0	4,905,512
修繕費	52,471	0	42,645	95,116	0	0	95,116
印刷製本費	656,476	737,755	263,082	1,657,313	0	0	1,657,313
燃料費	345,289	0	19,063	364,352	0	0	364,352
光熱水料費	42,513	0	184,161	226,674	0	0	226,674
賃借料	1,098,299	155,170	178,702	1,432,171	0	0	1,432,171
保険料	330,626	58,989	0	389,615	0	0	389,615
諸謝金	1,809,600	70,000	0	1,879,600	0	0	1,879,600
租税公課	68,600	16,100	0	84,700	0	0	84,700
支払負担金	2,531,871	30,000	0	2,561,871	0	0	2,561,871
支払助成金	8,859,500	0	0	8,859,500	0	0	8,859,500
委託費	0	11,565,746	0	11,565,746	0	0	11,565,746
支払手数料	104,212	9,790	0	114,002	0	0	114,002
雑費	303,798	0	0	303,798	0	0	303,798
事業費計	44,237,009	17,895,714	20,965,795	83,098,518	0	0	83,098,518
管理費							
役員報酬	0	0	0	0	42,000	0	42,000
給料手当	0	0	0	0	6,257,163	0	6,257,163
退職給付費用	0	0	0	0	157,661	0	157,661
福利厚生費	0	0	0	0	1,232,072	0	1,232,072
旅費交通費	0	0	0	0	122,710	0	122,710
通信運搬費	0	0	0	0	163,529	0	163,529
減価償却費	0	0	0	0	246,060	0	246,060
消耗品費	0	0	0	0	316,769	0	316,769
修繕費	0	0	0	0	20,815	0	20,815
印刷製本費	0	0	0	0	128,409	0	128,409
燃料費	0	0	0	0	9,304	0	9,304
光熱水料費	0	0	0	0	89,888	0	89,888
賃借料	0	0	0	0	87,223	0	87,223
保険料	0	0	0	0	142,460	0	142,460
租税公課	0	0	0	0	50,950	0	50,950
支払負担金	0	0	0	0	3,080	0	3,080
委託費	0	0	0	0	59,950	0	59,950
支払手数料	0	0	0	0	547,560	0	547,560
雑費	0	0	0	0	39,578	0	39,578
管理費計	0	0	0	0	9,717,181	0	9,717,181
経常費用計	44,237,009	17,895,714	20,965,795	83,098,518	9,717,181	0	92,815,699
評価損益等調整前当期経常増減額	1,504,354	△ 1,573,687	△ 5,257,467	△ 5,326,800	2,198,496	0	△ 3,128,304
当期経常増減額	1,504,354	△ 1,573,687	△ 5,257,467	△ 5,326,800	2,198,496	0	△ 3,128,304
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,504,354	△ 1,573,687	△ 5,257,467	△ 5,326,800	2,198,496	0	△ 3,128,304
税引前当期一般正味財産増減額	1,504,354	△ 1,573,687	△ 5,257,467	△ 5,326,800	2,198,496	0	△ 3,128,304
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 8,166,565	△ 8,166,565	51,693,770	0	43,527,205
一般正味財産期首残高	1,504,354	△ 1,573,687	△ 13,424,032	△ 13,493,365	53,892,266	0	40,398,901
一般正味財産期末残高							
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 270,807	0	0	△ 270,807	0	0	△ 270,807
一般正味財産への振替額	△ 270,807	0	0	△ 270,807	0	0	△ 270,807
当期指定正味財産増減額	0	0	311,690	311,690	0	0	311,690
指定正味財産期首残高	△ 270,807	0	311,690	40,883	0	0	40,883
指定正味財産期末残高	1,233,547	△ 1,573,687	△ 13,112,342	△ 13,452,482	53,892,266	0	40,439,784
III 正味財産期末残高							

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具、什器備品 …………… 定額法によっております。

(2) 引当金の献上基準

退職給付引当金……… 職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産				0
退職給付引当資産	4,196,646	662,440		4,859,086
車いすマラソン積立資産	2,000,092	40	2,000,132	0
競技力向上等事業準備資金	9,000,069	88	1,500,000	7,500,157
小計	15,196,807	662,568	3,500,132	12,359,243
合計	15,196,807	662,568	3,500,132	12,359,243

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0			
特定資産				
退職給付引当資産	4,859,086			4,859,086
車いすマラソン積立資産	0		0	
競技力向上等事業準備資金	7,500,157		7,500,157	
小計	12,359,243	0	7,500,157	4,859,086
合計	12,359,243	0	7,500,157	4,859,086

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,642,260	4,895,924	746,336
什器備品	10,401,150	6,587,136	3,814,014
合計	16,043,410	11,483,060	4,560,350

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等のの内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高、は次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						—
クラウドファンディング		111,690		70,807	40,883	指定正味財産
助成金	(公社)					
サントリー奨励金	日本フィランソピー協会	200,000		200,000	0	指定正味財産
合 計		311,690	0	270,807	40,883	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	70,807
目的達成による指定解除額	200,000
合 計	270,807

7 重要な後発事象

該当ありません

附属明細書

1 基本財産の増減明細

財務諸表に対する注記2基本財産の増減額及びその残高のとおりである。

2 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,196,646	662,440			4,859,086

財産目録
令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	普通預金	八十二銀行 朝陽支店	運転資金として	24,975,736
		八十二銀行 朝陽支店	運転資金として	1,552,661
	定期預金	八十二銀行 朝陽支店	運転資金として	4,506,483
	未収入金	長野県・長野県共同募金会		4,163,000
流動資産合計				35,197,880
(固定資産)				
特定資産				
	退職給付引当資産	八十二銀行 朝陽支店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,859,086
	競技力向上等事業準備資金	八十二銀行 朝陽支店	全国障がい者スポーツ大会における競技力向上を図るための資金	7,500,157
その他固定資産				
	車両運搬具	エスクァイア 1台 ミニキャブバン 2台	公益目的事業として67.2%、法人本部として32.8%使用している	746,336
	什器備品	競技用車いす 3台 ポッチャ補助用具、バイスキー他	公益目的事業財産であり公益目的事業で使用している	3,814,014
	保証金	車両リサイクル預託金	公益目的事業として67.2%、法人本部として32.8%使用している	29,430
固定資産合計				16,949,023
資産合計				52,146,903
(流動負債)				
	未払金	長野県 補助金返納額 競技団体助成金 4件 その他		3,967,121
				1,639,300
				1,066,398
	預り金		雇用保険	175,214
流動負債合計				6,848,033
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,859,086
固定負債合計				4,859,086
負債合計				11,707,119
正味財産				40,439,784

監査報告書

公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会
理事長 奥原 明男 様

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会の事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該公益財団法人の事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該公益財団法人の事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和6年5月28日

公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会

監事 内村 孝英

公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会

監事 草田 智史